



「環境経営」を推し進め、 皆様と一緒に持続可能な 社会づくりに貢献します。

西日本電信電話株式会社
代表取締役社長

大竹 伸一

私たちNTT西日本グループは、「NTT西日本グループ中期経営戦略」の中で「環境経営」を掲げ、全社をあげて地球環境保護に向けた活動に取り組んでいます。2007年度に、地球温暖化の防止や資源の有効活用に向けた「Save Resource Program」を策定し、「お客様情報機器のリユース・リサイクルの推進」「ネットワーク設備の省電力化・効率向上」「IT活用等によるエコ・オフィス活動の推進」「環境負荷低減ソリューションの販売」という、4つの重点分野における取り組みを強化してきました。

そうした努力の甲斐もあり、2008年度は5,800万kWhの消費電力を削減（前年度比56%増）することに成功しましたが、今後、さらに力を入れていこうと考えているのが「グリーン電力の利用促進」です。現在NTTグループ全体では、太陽光発電を中心とした自然エネルギーの活用を推進する「グリーンNTT」という活動を進めており、NTT西日本グループにおいても、自然エネルギー発電システムの設置目標(900kW)を達成すべく、2009年4月には高知支店管内(200kW)に太陽光パネルを設置し、2009年度末には大阪・高津データセンタ(39kW)にも設置を予定するなど順次計画を進めています。

私たちが手がけている情報通信事業は、サーバーやルーターなど、多くの通信機器を利用する関係で大量の電力を消費します。今後もネットワークの拡大や増強に向けて機器を増設していく必要があることを考えれば、大幅な削減を達成することは決して容易ではありません。

しかし、今後NTT西日本グループでは、CO₂削減に関する政府新指針に対して具体的な数値目標を設定し、削減に向けた取り組みを推進していきます。

また、私たちには情報通信業界のリーディングカンパニーとして目標を達成する責任があり、太陽光パネルの設置や既存ネットワーク設備のスリム化、通信機器の省電力化開発に力を入れることはもちろん、各職場におけるエコ化の推進など、大小かわらず、CO₂削減に貢献するための取り組みを地道に続けていきたいと思えます。

これらの取り組みに加えて、「テレビ電話会議システム」などの“地球環境にやさしいICTサービス”を提供することで、サービスをご利用いただく皆様と一緒に“持続可能な社会づくり”に貢献していければ幸いです。